



吉建第13号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

吉野川市長 川 真 田 哲 哉



中期的な計画策定にあたっての意見の提出について

吉野川市は、平成16年10月、徳島県の市町村合併第1号として誕生しました。「四国三郎」吉野川中流域の南岸に位置する旧麻植郡の4町村を併せてできた市です。市内は、東西に徳島県の「大動脈」国道192号が貫き、南北には香川県東かがわ市から本市に至る国道318号、また旧山川町から県南部の海陽町に向けて国道193号が走っています。旧鴨島町は都市計画区域を含んでおり、一部街路整備が進んでいるところがあるものの、おおかたの地方と同様、主な交通手段は車であり十分な道路整備が行き渡っているとはいえない状況です。

国道192号は愛媛県西条市を起点とし、徳島県三好市から吉野川市を經由し、徳島市に至る延長93.0kmの四国東部を横断する主要幹線道路であり、昭和28年に二級国道西条徳島線として指定され、昭和53年には一次改築を完了し、今日に至るまで沿線地域の日常生活を支える重要な路線です。しかし、昭和48年に吉野川市鴨島町から徳島市元町までの間が道路幅員16mから33mで都市計画決定されているにもかかわらず、鮎喰川以西については未整備の状況です。歩道整備についても十分でないため、吉野川市－徳島市間においては慢性的に交通渋滞が発生し、特に朝夕の通勤通学時間帯には著しく交通機能が低下しており、住民の安全で快適な生活環境が脅かされているばかりでなく、地域の発展も大きく損なわれています。

一方、国道318号は香川県東かがわ市と徳島県阿波市を結び、さらに吉野川市に至る実延長24.2kmの主要路線であり、特に阿波市－吉野川市間は、市民の生活・経済上の基盤となっています。しかし、阿波中央橋の幅員が6mしかないことや阿波市から阿波中央橋に進入する際の県道香美吉野線（堤上道路）とのアクセス未整備により、国道192号と同じく朝夕の交通渋滞の発生など深刻な問題を抱えています。

また、国道193号は四国東部を南北に横断、徳島県央部を貫き、県南部と県北部を結び香川県に至る本県の経済・文化活動に欠くことのできない重要な幹線道路です。加えて剣山国定公園をはじめとする豊かな自然環境に恵まれた観光地を結ぶ道路として広く利用されています。しかし、急峻な峠区間を抱え未改良部分が多いため、悪天候時には通行止めになるなど幹線道路としての機能が十分果たせず、沿線住民の安全で安心できる日常生活が確保されていない状況です。このため、倉羅トンネルをはじめとする国道193号の早期整備は重要課題です。

道路は住民の日常生活から経済活動に至るまで、全ての経済社会活動に密着不可分な基本的かつ重要な社会資本施設です。また、近い将来高い確率で発生が予想される東南海・南海地震に備え、災害時の緊急輸送路確保の観点からも、これら主要幹線の整備は必要不可欠であると考えます。